
硝子の欠片

梨々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

硝子の欠片

【Nコード】

N4262M

【作者名】

梨々

【あらすじ】

他人の物語を傍観する者。
他人の運命に干渉する者。
2つの役割を持つ美少女がたくさんの人々と関わっていくおはなし。

*アメブロでブログをやっています。

欠片

床も、壁も、天井も、家具も。

全てが白色で統一された部屋。

大きな2つの窓に取り付けられているカーテンは両方とも完璧に閉められ、灯りは柔らかいオレンジ色の間接照明からのもののみ。

そんな部屋のちょうど中心で佇んでいる少女が1人。

腰にまである銀色の髪。

大きな二重の青色の瞳。

くるんと上を向いた睫。

小さくも高い通った鼻。

形の良いピンク色の唇。

血色の良くない色の頬。

きめの細かい白色の肌。

スツと細長く伸びた腕。

スツと細長く伸びた足。

全体的に華奢なカラダ。

まだ若干の幼さはあるものの、まるで職人が作ったフランス人形のように、1つ1つのパーツも全体的なバランスも美しい顔と体。

“可愛い”と言うよりも“綺麗”という単語の方がしっくりと来る中性的な美しさ。

・・・と。

ふいに、少女の唇が弧を描く。

「

」

楽しそうに、ぽつりと呟いて。

「きゃは、きゃはははっ」

狂ったかのように笑いながら。

少女は音も立てずパタリと倒れこんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4262m/>

硝子の欠片

2010年10月9日03時49分発行